

日野市
議会議員

伊藤あゆみ

日野市政Report Vol.6 ITO AYUMI

発行者/自由民主党日野市議団 伊藤あゆみ 住所/日野市川辺堀之内153番地の1 電話・FAX 042-843-3359



伊藤あゆみ市政レポート

皆様こんにちは♪

日野市議会議員の伊藤あゆみです。

皆様に市政にお送りいただき、3度目の春を迎えました。

この間、公約に掲げた政策の実現に向けて、日々、活動を続けてまいりました。

令和4年10月には、三多摩地域になかったHPVワクチン接種後の協力医療機関を東京都立小児医療センター感染症科に設置する事ができました。また、プレコンセプションケアを導入し、若い世代が早い段階から自分の身体と向き合い将来設計が描ける街になるよう日野市と協議し、令和7年2月にみらいくにおきまして実現することができました。

今後は学校教育の中でプレコンセプションケアをおこない、自身の健康管理の重要性を理解するとともに、適切な生活習慣を早い段階から身につけ、不安があれば恥ずかしがらず大人に相談できる、その環境を整えてまいります。

また、市民の方からご相談いただいた、医療的ケアを要するお子さんの保育園入所問題にも取り組ませていただきました。その結果、令和5年には日野市立学校における医療的ケアの実施に対するガイドラインが策定され、令和6年度中に

保育園における医療的ケア児の受け入れガイドラインが策定される予定です。

ガイドライン策定とともに、2025年入所申し込みから保育園調整基準指数に医療的ケア児の加点を導入し、さらには医療的ケア児等コーディネーターの配置も行うことができました。今後は、ライフステージに合わせた支援体制を整え、養護・介護をされるご家族が将来に希望をもち、それぞれの人生に諦めない街づくりに取り組んでまいります。

その他、情報保障の観点から議会中継に字幕を導入しました。今後は、手話言語条例制定にむけて皆様と取り組んでいきます。また、若手アーティスト育成にも引き続き取り組み、彩のある幸せ奏でる日野づくりを進めてまいります。

これまで皆様に掲げた公約に対し、私なりに誠実に取り組んでまいりましたが、まだまだ未熟であり、今回の市政レポートでは、自由民主党日野市議団の先輩である古賀壮志議員と、私の政策と今後の日野市の未来について対談させていただきました。

是非、皆様、裏面をご覧ください♪

日野市議会議員 伊藤 あゆみ



伊藤あゆみ 公式HP・LINEができました!!

公式HPでは過去の一般質問中継や日々の活動風景がご覧になれます。
公式LINEでは、皆様に直接、活動報告をさせていただきます。
また、ご登録の上、個人的に相談ができる体制も整えています。どちらも、是非ご利用ください。



伊藤

本日はお時間をいただきありがとうございます。古賀壮志議員と私は同世代かつ日野出身ですが、初めてお会いしたのは大坪市長の一期目の選挙でした。それから12年に渡り様々な選挙を一緒にしましたが、まさか、私自身が議員の道を選ぶとは思いませんでした。いつも温かく面倒をみてくださり、ありがとうございます。

古賀

本日は、対談にお招きいただきありがとうございます。伊藤議員とは長い付き合いですが、ゆっくりと政策について話す機会はありませんでした。自衛隊災害派遣から不妊治療支援など、様々な分野に挑戦されることは新人ながら頑張っているなと感じています。

伊藤

この3年間多くの分野の質問をさせていただきましたが、古賀議員と私の共通点といえば自衛隊ではないでしょうか。古賀議員は、予備自衛官を経験されましたが、入隊を希望



古賀壮志 × 伊藤あゆみ

日野市議会議員
古賀壮志
対談特集



予備自衛官の増員は、地域と国家の安全強化に大きく貢献します。議会で両立しながら尽力されたことを尊敬します。

さて、災害が起きた時に朝霞駐屯に所在する第1施設大隊第2中隊が、日野市・八王子市・町田市を担任します。しかし、自衛隊総員60名に押し守るべき市民は約118万人です。そのため、日頃から3市が情報共有をおこない、それぞれの市の弱点や対応策を自衛隊と話し合い、広域行政として展開していく必要性があると考えます。予備自衛官をご経験された古賀議員はどの様にお考えですか。

古賀

ご指摘の通り、自衛隊総員60名が約118万市民を担う現状を踏まえると、3市が緊密に連携し、自衛隊との情報共有を強化することは極めて重要であると考えます。

危機管理の観点からも共同での研修や訓練を進めることで、より実効性のある防災・有事対応が可能になります。

今後、3市が協力して自衛隊と定期的な意見交換や研修を実施し、地域防衛・防災力を高める枠組みを構築していくことが望ましいと思います。

したきっかけを教えてください。

古賀

1期目の市議会選挙を終え、市議の仕事とともに両立できる予備自衛官に任官しました。目指した理由は、純粹に災害や有事が起きた時、体を張って国民を守りたい。その思いからでした。

予備自衛官としての訓練は様々ありますが、有事の際の対応能力や組織的な行動をとるためのリーダーシップは、市議会議員としての活動にも大いに役立ちました。

さらに、この経験は防災・危機管理の視点をもって地域防災計画の強化に取り組むことができ、また平時から自衛隊や関係機関と連携を深めることで、災害時の迅速な対応に繋げることが可能となりました。

地域の安全保障や防災対策について、実際の訓練経験を踏まえた現実的な政策提言をおこなうことができるため、市民の安全・安心を守る活動に繋がったと思います。

伊藤

素晴らしい経験ですね!!

れると良いですね。

伊藤

ありがとうございます。それでは次に、私の公約である不妊治療支援についてうかがいます。

今、日本では年間60万人が不妊治療を受けていると想定されています。

国でも不妊症検査支援・健康保険適用など、様々な施策を打ち出しておりますが、命をお腹に宿す前と後の支援は大きく違っており、私は感じております。

特に、メンタルケアについて日野市では、妊娠をしていれば不安や悩み事に対面で真摯に相談にのってもらえ、さらには必要な場所・人へと支援体制を伸ばし妊娠を継続する環境を整えてくれます。

一方、不妊治療に取り組む方の悩みは保健師が聞くものの、最終的には東京都のホットラインを紹介するに留まる状況です。

「妊娠していない」ただそれだけで、子どもを望んでいるけれど、なかなか妊娠が叶わず、孤独や不安そして苦しみを抱える方を孤立させる環境は変えていかなければなりません。

古賀議員は不妊治療支援について、どの様にお考えですか。

古賀

伊藤議員が自身の経験から、この課題について真剣に取り組んでいることを良く知っています。特に令和6年12月議会、不妊治療の方が受ける経済的負担や社会的スティグマについて市と討論していた姿が印象的でした。不妊治療は1人でするものではなく、必ずパートナーがいます。性別を問わず、双方の心のケアができるそういった環境をつくるのが大切だと考えます。

伊藤

ありがとうございます。

不妊治療はそれぞれの身体に見合った治療が必要であり、課題解決、または妊娠に至るまでの支援を行政が必ず成し遂げることはできません。

しかし、不安に寄り添い、心の整理をおこないながら前に進める支援はできるはずですよ。

是非、古賀議員もこの政策が叶うよう応援をお願いします。

古賀

伊藤議員は、不妊治療支援だけでなく、早い段階から自分の身体と向き合う機会をつくるために、プレコンセプションケアについても力を入れていきますよ。

私もちょうど年頃の娘がいるので、今後、どんな展開をしていきたいのか教えてくれますか。

伊藤

聞いていただき、ありがとうございます。プレコンセプションケアは、「将来の妊娠や健康のために、若いうちから自分の体を知り、健康管理をしていくこと」です。これまで私は、不妊治療支援とともに、子供たちには早期

から自分の身体と向き合う機会を設け悔いのない人生を歩んでもらいたいと、プレコンセプションケアの導入を市に訴えてきました。そして、ついには令和7年2月にみらいくで開催されました。

しかし、参加者が少人数であったことから、今後は学校教育の中でプレコンセプションケアをおこない、全ての子供を対象にしたいと思っています。

実際に、思春期頃から生理にまつわる悩みを抱える女性は多くおり、検査の結果、無排卵や子宮筋腫など、人知れず治療に取り組む若い世代のお嬢さんもいらっしゃいます。

自身の健康管理の重要性を理解し、適切な生活習慣を早い段階から身につけること、また不安があれば恥ずかしがらず大人に相談できる、その環境を整えるためには、中高生の段階で学ぶことが大変重要であると考え、そういった展開を日野市で行いたいと思っています。

古賀議員は、今後、どの様な日野市の展開をお考えですか。

古賀

「ずっと住み続けたい街、やっぱり日野だね」市民がそう思う日野市を目指しています。

公園や緑地をはじめ四季を彩る自然が豊富で、農地も残っていて河川や湧き水という素敵な水辺がある。日野市は本当に誇れる魅力的な街であり故郷です。

また、日野駅・豊田駅・高幡不動駅を中心に市街地があったり日常的に便利で住みよい。

農地だけでなく、大きな工場と共に歩んできた街は勤労意欲にあふれ、働く人の汗が輝いている。そして、高幡不動や新選組のふるさととして歴史も深い。

肩肘張らずに身の丈を知り、いつも自然体でいられるのが日野市だと、私は感じています。

そんな総合力抜群の日野市の街を、「都市の寢室」であるベッタタウンではなく、「働き・暮らし・楽しめる街」であるポスト・ベッタ・タウンへと転換し、日本国に生まれた幸運とともにこれからも守り育てていくのが、私の役目であると考えています。

伊藤

ありがとうございます。

日野市議会議員を5期19年間務める古賀議員だからこそ出来る日野市の課題解決がたくさんあると思います。

私たちは共に40代であり、この日本を支え親や子を守る世代です。

今後も力を合わせながら、正々堂々、誠の

新時代を拓いていきま

しょう。

